

1 巻頭言 申琪榮

特集

パンデミックとジェンダー

▶ 研究論文

- 5 コロナ禍の生命保険営業における「対面」営業の変化
金井 郁
- 25 危機としてのコロナ・パンデミックとフェミニスト知
本山 央子

▶ 研究ノート

- 47 カラ・ウォーカーによる《フォンス・アメリカヌス》(2019)
——パンデミック下のイギリスにおけるBLM運動の視点から
内山 尚子
- 57 COVID-19がジェンダー施策に与える影響——ドイツの男女平等戦略を巡る現状報告
佐野 敦子
- 67 COVID-19と「ホーム」——フェミニスト地理学の視点から
倉光 ミナ子

▶ 現場報告／事例報告

- 75 パンデミックを生き延びる——マニラ首都圏都市底辺層女性のロックダウン下の日常生活経験から
小ヶ谷 千穂／ロレイン・モラレス
- 83 コロナ禍のシングルマザー調査プロジェクト——1800人の実態調査から見てきたこと
五十嵐 光／石本 めぐみ
- 89 パンデミック期の北京で生きる医師たちの日常
大友 聡

投稿論文

- 95 「Xジェンダーであること」の自己呈示——親とパートナーへのカミングアウトをめぐる語りから
武内 今日子
- 113 腐女子の「ファンタジー・トラブル」——身体・欲望・妄想をめぐるBLファンタジーの存在論
張 瑋容
- 131 女性発達障害児者を支援者はどのような対象として考えているのか
——支援者に残るジェンダーバイアスとその再生産
向井 理菜
- 153 若者の性の問題化の構造——保健体育科教科書における性感染症の記述を例に
反橋 一憲
- 171 ポストフェミニズムとしてのトランス?——千田有紀「女」の境界線を引きなおす」を読み解く
藤高 和輝

書評

- 189 ケイト・マン著／小川芳範訳, 2019, 『ひれふせ、女たち ミソジニーの理論』慶應義塾大学出版会.
林美子
- 192 Koikari Mire 著, 2020, *Gender, Culture, and Disaster in Post-3.11 Japan*, Bloomsbury Academic.
高橋麻美
- 195 ジョアン・C・トロント著／岡野八代訳・著, 2020,
『ケアするのは誰か？新しい民主主義のかたちへ』白澤社発行／現代書館発売.
山根純佳
- 198 戒能民江／堀千鶴子著, 2020, 『婦人保護事業から女性支援法へ― 困難に直面する女性を支える』信山社.
小川真理子
- 201 小浜正子著, 2020, 『一人っ子政策と中国社会』京都大学学術出版会.
田間泰子
- 204 シンシア・エンロー著／佐藤文香監訳, 2020,
『〈家父長制〉は無敵じゃない 日常からさぐるフェミニストの国際政治』岩波書店.
児玉谷レミ
- 207 中嶋泉著, 2019, 『アンチ・アクション 日本戦後絵画と女性画家』ブリュッケ.
小勝禮子
- 210 跡部千慧著, 2020, 『戦後女性教員史 日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程』六花出版.
佐藤智美
- 213 Cynthia J. Cranford 著, 2020,
Home Care Fault Lines: Understanding Tensions and Creating Alliances, Cornell University Press.
大野恵理
- 216 鈴木彩加著, 2019, 『女性たちの保守運動 右傾化する日本社会のジェンダー』人文書院.
具裕珍
- 219 熊本理抄著, 2020, 『被差別部落女性の主体性形成に関する研究』解放出版社.
徐阿貴
- 224 編集後記
- 226 編集方針・投稿規定